

- 座間味村では、林野率が80%となっており「慶良間諸島国立公園」として指定されるほど豊かな自然に囲まれている。
- 一方、近年、沖縄県内各地で松くい虫による被害が深刻化しており、村内の森林を保全する上で危機感を持っている。
- このため、この豊かな自然環境を守っていくべく、令和5年度において村内広域を対象に松くい虫の被害調査を実施した。

□ 事業内容

松くい虫被害調査事業

- ・ 沖縄県内で被害が確認されている松くい虫について、村内においても適正な森林の保全を図ることを目的に、松くい虫の被害調査を実施した。

【事業費】1,396千円（うち譲与税1,119千円）

（譲与税は、調査全般に充当）

【実績】村内4島（有人島3及び無人島1）にて調査を実施。

□ 取組の背景

- ・ 近年、沖縄県内各地で松くい虫による被害が深刻化していることから、村内においても被害が確認・深刻化する前に自然環境を保全する必要があることから当該業務を実施した。



（村内の枯損松）



（現地調査の様子）



（検体調査の様子）

□ 工夫・留意した点

- ・ 目視できない場所等においては、ドローンを活用した調査を実施した。
- ・ 現場の立ち入り診断を実施し、必要に応じてサンプルを採取し検体調査を実施した。

□ 取組の効果

- ・ 松くい虫の被害は確認されなかった。
- ・ 今後、島内への持ち込み被害を防止するため啓蒙活動を実施する必要性を確認できた。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：340千円		②私有林人工林面積（※1）：61ha	
③林野率（※1）：80.0%		④人口（※2）：892人	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より